



2008年度生入学 おめでとうございます

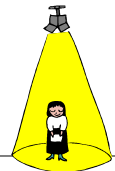


会計研究科入学式、
新入生オリエンテーション
早稲田大学国際会議場
井深大記念ホールにて



入学式後の懇親会。軽食は
毎年恒例のカツサンドです。





会計研には3つのコースが用意されています。
各コースで学ぶ学生さんにスポットライトを当て、
みなさんが大学院に入学しようと思ったきっかけなどを紹介します！

会計専門コース 1年 高橋 花奈(Takahashi Kana)



こんにちは、5組の高橋です。学部時代にかじった会計を、土台からきちんと学び、自信を持って「会計できます！わかります！」と言えるようになりたくて入学しました。1ヶ月が経ちますが、思っていた以上に授業が面白く、わかりやすく、嬉しいです。

毎回新しい発見があります。早稲田のサービスの良さにも驚きです。自習室も多く、休んだ授業のレジュメも事務所でいただけるなんて、至れり尽くせりです。

また、様々なバックグラウンドの方がいらして、とても良い刺激になります。早くワークショップで討論がしたいです。気づくと秋学期は何を履修しようかと、時間割を眺めてわくわくしています。興味のある授業ばかりで困ってしまい、本当に恵まれているなぁと思います。

志の高い皆さんと一緒に、切磋琢磨して、充実した日々を過ごしたいと思っています。

よろしくお願いたします。楽しい2年間にしましょう！



国際会計専門コース 1年 タンヤビブーン・チャルムポーン (Tanyawiboon Chalernporn)



こんにちは。タイから来たタンヤビブーン・チャルムポーンと申します。皆はジップと呼んでくれています。去年、日本へ参りまして早稲田の会計研究科で1年間科目等履修生として学びました。先生方をはじめ、事務の方々、先輩、同輩が助けてくださったおかげで単位を取得し、そして去年の11月に無事に国際会計専門コースに合格しました。

早稲田の会計研究科を選んだ理由はいくつかあります。まずは、元々各国の会計基準に関して興味を持っており、ちょうど早稲田会計研究科で国際会計専門コースが設立されたので、日本の会計基準だけではなく米国会計基準も同時に勉強し、アメリカに行かなくても日本とハワイの学位を同時に取得することができるというのが一つです。実務向けの授業科目で、会計の仕事に応じる考え方などが学べると思います。さらに会計科目のほか、経済、統計、IT、英語の科目も多数あります。このように多彩な科目の勉強は、会計や金融工学のような専門領域に限らず、自分の生活のいろいろな面でも役に立っているため、履修して本当に良かったと思います。今は早稲田を選んだのは正解だと感じています。

最後に、今から2年間の留学については、会計の実務に欠かせない知識を楽しんで勉強し、しっかりと身につけ、社会および国際交流に役立つ人間になり、友達もたくさん作ろうと思います。

皆と一緒に頑張りましょうね！

高度会計専門コース 1年 林 めぐみ (Hayashi Megumi)



高度会計専門コースの林めぐみです。大学卒業の年に税理士試験に合格し、税理士登録をして8年目になります。職業会計人として日常業務に追われる中、所属する税理士団体の研修会を企画することとなり、当研究科の品川教授を講師としてお招きした際、「税理士は税の法律家として、税を体系的に学ぶべきだ。」という言葉に感銘を受け、品川ゼミの門をたたきました。税理士業務において、各税法の個別案件についての勉強はしても、そのベースとなる租税法を勉強する機会は多くありません。年齢的なハンデや、仕事をしながらの勉強でしたので戸惑いもありましたが、1ヶ月近く経ち、多くの会計研の同期が、試験合格を目標に頑張っており、私も時間を有効に使い、仕事と租税法の研究との両立を頑張らなくてはと、週2回、名古屋から新幹線を通っております。仕事をする上では、同業種、また異業種の土業との交流は続きます。今後に繋がる人間関係を互いに築きましょう。



2年生に聞いてみよう！ Aノ先輩の勉強方法を教えて！

これから、
たくさんの先輩が
登場する予定です。
お楽しみに！



今、何が求められているかを知ること、 柔軟性が大切。

満行 毅
Mitsuyuki Kowashi
平成19年公認会計士試験 合格

公認会計士・監査審査会の「公認会計士試験実施の改善について(平成19年10月25日)」を読んだ事はありませんか？

試験に合格するには、どのような事が求められているかを知って下さい。会計研では講義やワークアウトを通じて、その求められている事を教えてくれます。

特に専門学校に長く通っている人は、上記のホームページを読んで、もう一度自分を振り返ってみて下さい。自分に足りないものが、実は会計研で手に入るものかもしれません。会計のベースはあるのだから自分の殻に閉じこもらず、今までの知識に講義やワークアウトで得た新たな知識を融合させる素直さと柔軟さを持ち合わせて下さい。



井上 玲奈
Inoue Rena
公認会計士試験に向けて勉強中！

自習室での勉強がおススメです。 自分に合ったリズムを作ること

授業とワークアウトの利用 パターン化された予備校の問題に比べ、大学院では考えさせられるような問題が多く、また、現在トピックになっている論点に触れることができます。これは本質的な理解に繋がるし、どんな問題がでるか分からない論文試験にはとても有効だと思います。

自習室の利用 入室・退室時間を書くことで自分が(また、まわりが)どれだけの時間を自習に使っているかがよく分かり、毎日のリズムが作りやすいです。特にこの自習室は、みんなが「お疲れ！」と声を掛け合えるいい環境だと思います。

リフレッシュ法 会計研にはチャリ部があり、主に活動は自転車通学です。私も片道30分かけて通学していて、天気のいい日は気持ち良く、いいリフレッシュになっています。勉強中は運動不足になるし、勉強には体力も必要なので是非おススメです。

最後に... 専門学校と大学院の両立に大変な人も多いかもしれませんが、しかし1年たって思うことは自分に「考える力」がついたということです。特にこれからの会計士試験には必要なことだと思います。そして合格後の自分のためにも、早稲田大学会計研究科の合格率を自分たちがぐっと上げてやる、くらしい気持ちで頑張ってください！私も頑張ります！



ワークアウト科目を積極的に受講。 勉強スタイルに工夫を！

石黒 良一
Ishiguro Ryoichi
公認会計士試験に向けて勉強中！

私は、本年度の公認会計士試験の合格を目指して、勉強に励んでおります。スタイルとしては、大学院をメインに、目的に応じて専門学校を補完的に使用しています。

具体的に、理論については、大学院の授業を特に大切にしています。そして、理解を正しく表現できるよう、ワークアウトを積極的に受講しています。ワークアウトは、一見素直だが考えさせられる問題から実務的な内容まで網羅的に出題されるため、必ず発見があります。何よりも、第三者に見てもらえることは魅力的です。

一方、計算を鍛えるための計算演習、および、短答式問題に慣れるための短答演習については、それぞれ専門学校の講座をとることで対応しています。

〔卒業プロジェクトを振り返って...〕

会計研究科2年 青木慶介・曾根俊一

(Aoki Keisuke, Sone Shunichi)



先日、第二期生の修了にあたり、謝恩会・二次会のお手伝いとして参加させて頂きました。会計研の謝恩会・二次会は学生主導の手作りで、様々な企画が準備されており、涙あり笑いありと、大学院というアカデミックな雰囲気とはまた違った姿を垣間見ることができました。また先輩との交流をはかることもでき、勉強の合間に良い時間を過ごせたなという感想です。ちなみに、式典後は、三次会・四次会と盛り上がりが続いていたそうで、第二期生の先輩方の結束の固さを示すものとなったようです。三期生の結束力はさらに上を目指したいものですね。笑



メッセージ



公認会計士は、限られた時間の中で被監査会社の経理担当役員らと討議し、都度相手を納得させながら、意見形成に必要な十分な資料を提出していただき、証拠資料を収集していく必要があります。

このプロセスにおいて本質的なことは、「(会計のプロである)経理役員と互角以上の議論をするだけの専門知識を身につけているか」ということです。さいわい、公認会計士試験を通過するには、会計関連分野の徹底的なトレーニングが必要であるため、公認会計士は十分にこのプロセスをやり遂げることができます。

2008年度からは、公認会計士にもう一つの大きな責任が課せられました。ご案内の通り、内部統制報告制度における内部統制監査です。大規模企業の場合、内部統制を支える技術的基盤はITです。したがって、内部統制報告書に対する意見表明をするためには、情報システム部門とも互角以上の議論ができる専門知識が必要となります。

これからの公認会計士は、片や経理部門、片や情報システム部門の「猛者」と十分に「闘える」だけの知的準備が必要となるでしょう。これは、「公認会計士試験の科目のなかにIT能力を問うものがあるか否か」といった形式的な話とは、全く独立した事実であることに注意する必要があると思います。早稲田大学大学院会計研究科在籍生という>絶好の立場を是非とも「狡猾に」利用し、知的準備を押しすすめていただきたいと思います。

鈴木 孝則 (会計研究科 准教授)

事務所からのお知らせ

本誌、1ページ目に掲載している入学式の集合写真を、下記のとおり販売しております。入学の記念にぜひお買い求めください。

- 【申込期間】 2008年5月1日(木)～5月17日(土)17:00まで
- 【販売場所】 17号館 生協ライフセンター1F奥 カウンター
- 【サイズ】 6ツ切り(20cm×25cm)サイズのみ
- 【販売価格】 1枚 840円
- 【受渡期間】 2008年 6月9日(月)～6月21日(土)
上記期間内に必ず受け取ってください。



過去に発行された「月刊会計研」は、会計研のホームページより閲覧できます！

<http://www.waseda.jp/accounting/>